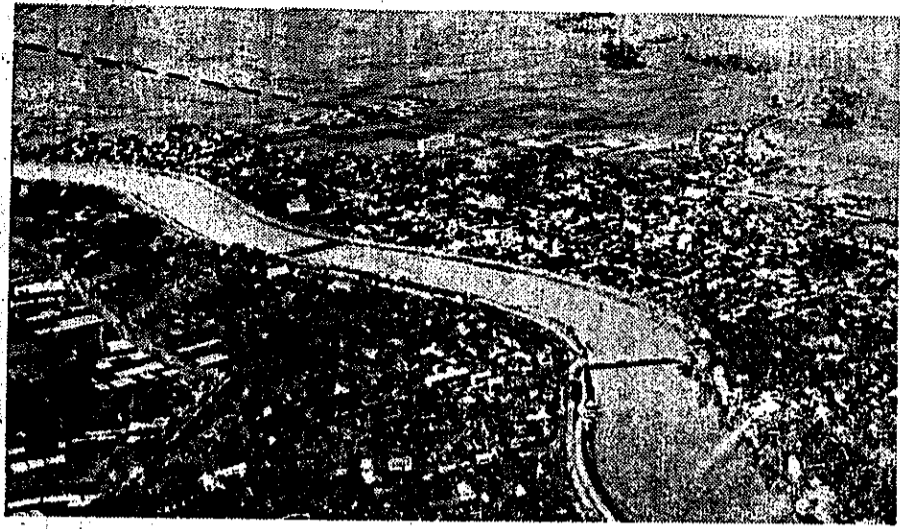


# ゆらぐ(白根)新17号線

## <全町民注視の焦点>



白根地区上空より、点線は国道予定地

「その後、一級国道新十七号線はどうなったんだろう」とこんな会話がきくのも、きょうも町のどこかで、町のだれかと語られている。それももう半年余りも……。「新国道」それは全白根四町民にとって、人工衛星や放射能、中近東や台湾海峡の問題以上に重大関心事をもたざるを得ない。なぜなら、白根町民の発展と希望が託されている重要幹線であるのだから……。

編纂部ではこの問題について各方面から取材したが、その結論は簡単なようで複雑、複雑のようで簡単なようでもある。ともあれ、その後の「新十七号線」にスポットをあててみよう。

### 五か年で東京—新潟舗装完成

#### 北陸地建の最重要事業……

まず、新十七号線全線の進行予定表に目を通すと——

新潟—大野、改良(舗装が行われる状態の道路をいふ)が終り、来年度には舗装に着手の予定。

大野—白根?(空白)

三条—長岡改良が終り、今町—長岡は来年度舗装着手

今町—三条はそれに引きつづいて舗装の予定。

長岡—小千谷、本年度改良

長岡—三河内、同トネルは整備中、一キロメートルは整備中、一キロメートルは整備中、一キロメートルは整備中

### 複雑な地元対策委の動き

#### 反対に急転、着手を延期

昨年十一月末、建設省では測量にもなると土地立入りの告示を行ったが、本年に入り農林部では「国道八号線対策協議会」がつくられ町部では「国道工事宅地建物対策協議会」がそれぞれ組織され、土地、宅地などに建設省と接する機関が設けられて話し合えることになり、町部では協議会と多少の曲折はあれ、スムーズに、むしろ協力的に測量その他の話は進められていた。ところが突如、まさに突然、三月末農林関係者の対策協議会では「全町率げて国道建設に反対しよう」というのに、町議会が反対の現状では農家側だけ好んで建設省に動く必要はない」と建設省の交渉のつれからではなく、町内部分の問題から八十度の大幅な回をなし、国道建設には、建設省にもその旨を提出した。ふつうは買取価格等の折り合いがつかずに決裂、そして反対に反対ということになるのだが、建設省とは円満友好的に進展して

### 着手の見通しは五十パーセント

しかし建設省内部では東京—新潟の最短コース上にある白根町に早急に国道着手の望みを捨てず、という建設省の意向は、町議会(建設省では全町民とみる)が反対では三十四年度も着手のメドがたないから、前記二者の反対決議の取り消し方を八月、町に依頼した。これにより、対策委員(農家側)が開かれたが、結局は建設省が国道反対決議を再考すれば、委員会も再考しようという話になり、八月の臨時町会の席上町長は反対決議に代る別の決議を町会に申出、二時間

七か年完成ではなく五か年以内に東京—新潟全線舗装を突貫工事で行いたいと語っており、それも冬季積雪のときは除雪可能な状態にする。とにより四季を通じて雪の存在は新潟県民でなければ判らない。平均時速七十キロの高速運転可能にし、新潟—東京の所要時間は五時間を目標に新十七号線を仕上げ、予定で新国道の建設は急ピッチに進められている。そこで白根町民にとって問題なのは白根町内の道路新設はどうか、これが現段階ではなかく、予測の難しい状態だ。なぜか、この疑問に答えるには、いままでの経過を説明しなければならぬ。



### 白根町地内 新国道計画予定図

### A部、三十七年には舗装

#### ～明年白根着手の場合～

期しなければならぬという意向で、これもまた、急転して見送ることとなり宅地委員会(町側)の早期着手、協力の線もあったが、ここで新十七号線白根建設はデット・ロツクに乗り上げて、農林関係者と建設省の話し合いの場は消い失せ、いま現在まで建設省と農家側対策委員会とは一回も話し合いのない状態だ。

では、もし来年工事に着手することになればどんなことになるか——の仮定も、町に建設省にきくと——

白根通過は三案考えられていたが、測量の結果と農家側の要望、町発展、この三点を考慮し図のように戸頭—根岸、高井の排水機のある地点まで(図A)の買取交渉から始め、家屋の移転、用排水路の整備、その他工事着手に支障のないよう一切の準備を同年中に完了。翌三十五年度A路線の通路改良着手、完了する。と併

決してハツタリではない。根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

### 早期新設を切願

思えば昨年十一月以来、白根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

決してハツタリではない。根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

思えば昨年十一月以来、白根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

思えば昨年十一月以来、白根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

思えば昨年十一月以来、白根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

思えば昨年十一月以来、白根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

思えば昨年十一月以来、白根全町民の世論は圧倒的に新十七号線建設の実現を待ちこがれているようだ。白根町民がその将来を論ずるべき時だ。

### 有利なうちに

このように来年度着手の見込みは五分五分だ。建設省では断っている。もし来年着手できず、七号線全線の工事スピードアップ化を図る。そして新十七号線は白根を除いた他地区はほとんど完成したと仮定すると、このとき建設省はどういう態度で用地交渉に臨むだろうか。建設省のいかなる態度